

《国、業種により多様化するアジア支払遅延状況（要約）》

世界的に活躍するフランスの取引信用保険会社であるコファス社は、アジアパシフィック地域8か国（オーストラリア、香港、中国、日本、インド、シンガポール、タイ、台湾）の企業における支払い動向や傾向を調べるために年に一度の調査を行っています。以下は、その調査結果の概要をまとめたものになります。

<支払動向概要>

年	状況・見通し
2015年	支払い遅延リスクは増加傾向継続
2016年	世界景気の不透明さから、2016年も厳しい年になりそうである。

<国別支払い動向・環境>

状況	国
改善	オーストラリア、タイ
安定化	香港、日本
現状維持	台湾
悪化	中国、インド、シンガポール

<セクター別概況>

業種	概況
建設	もっともリスクに直面しているセクター。 2016年は緩和の可能性があるが、以前悪い状況に変わりはないと見られる。
機械・電気製品	建設業界に次いでリスクの高い業種。 業界再編の可能性も考えられる。
自動車・輸送用機器	悪い状況にあることに変わりはないが、中間層の拡大、金利低下を背景にこの状況に対処可能だと思われる。
製薬	中間層の台頭、高齢化による需要増により改善の兆しが見られる。中期的にもポジティブな見通しだが、薬価低下への国、国民からの圧力には要注意。

以上